

## 研究の名称

- ・ 遺伝子解析を用いたノロウイルス対策

## 研究の概要

- ・ 食品や拭き取り検体から微量なノロウイルスを検出する検査技術の確立を目指す。
- ・ ノロウイルスの遺伝子解析により型別を把握し、変異の有無や年毎の特徴を調査し、食中毒や感染症の感染源や感染経路の解明に役立てる。

## 研究の期間

- ・ 令和元年度から令和3年度まで

## 使用する試料

- ・ 平成28年度から令和3年度の感染症発生動向調査事業において、ノロウイルス陽性と判明した残余検体（便）
- ・ 食中毒・胃腸炎集団発生事例においてノロウイルス陽性と判明した残余検体

## 使用する情報

- ・ 本研究として実施した遺伝子検査結果、採取年月日、事例情報（食中毒事例・胃腸炎集団発生事例・胃腸炎散発事例の別）

## 試料・情報の管理責任者

- ・ 香川県環境保健研究センター 微生物担当 寺嶋 由佳理